

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	0401	スポーツ施設環境整備事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
スポーツ環境の充実

《事業開始の背景》
スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修や整備を図るとともに、平成28年の岩手国体に向けた施設整備を行う必要がある。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済効果の向上を図るため、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等を誘致できる施設整備を積極的に行う必要がある。

《事業概要》

- ・石鳥谷ふれあい運動公園グラウンド等整備
- ・クレー射撃場整備
- ・花巻球場ラバーフェンス塗装改修
- ・スポーツキャンプむらメイングラウンド人工芝整備
- ・日居城野運動公園スケートパーク整備

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 施設利用者数	人	目標	706,000	720,000	730,000
		実績	723,870	770,148	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当課長	(内線)
人づくり	生涯学習部	スポーツ振興課	高橋 研也	318

		25年度決算	当初(現計)	補正	年度	年度
事業費		319,094				
財源内訳	国庫支出金	8,498				
	地方債					
	その他	50,400				
	一般財源	260,196				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

平成25年度

- ・石鳥谷ふれあい運動公園グラウンド等整備 116,557千円
(グラウンド整備、備品収納庫整備、競技備品)
- ・クレー射撃場整備 13,710千円
(敷地雨水排水改修、電光掲示板整備)
- ・花巻球場ラバーフェンス等塗装改修 7,987千円
- ・スポーツキャンプむらメイングラウンド人工芝整備 170,031千円
- ・スケートパーク整備 6,090千円
- ・その他備品購入 4,719千円
(陸上写真判定用カメラ、ハンドボールゴール等)

平成25年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	0401	スポーツ施設環境整備事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	競技・生涯スポーツの推進
	4		4-3	
目的	スポーツ環境の充実			
対象	市民、市外の施設利用者			
意図	スポーツ施設を充実し、市民がスポーツに取り組む機会の増加に努めるとともに、大規模大会等を誘致し、交流人口の拡大を図る。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- ・石鳥谷ふれあい運動公園グラウンド等整備
- ・クレー射撃場整備
- ・花巻球場ラバーフェンス塗装改修
- ・スポーツキャンプむらメイングラウンド人工芝整備
- ・日居城野運動公園スケートパーク整備

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 施設整備件数	件	計画	4	4	4
		実績	4	4	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 施設利用者数	人	目標	706,000	720,000	730,000
		実績	723,870	770,148	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

平成23年11月に総合体育館アネックス完成。平成24年度は各施設の改修、整備に関して、関係競技団体と施設の設計内容について調整し、順調に進行している。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

サッカー関係者からは、スポーツキャンプむらの利用拡大のため人工芝化が要望されていた。国体開催会場は、中央団体から施設整備の指摘があった。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	平成28年国体開催に向けて、施設整備は必要不可欠である。スポーツでまちづくり構想推進のためには施設の充実を図ることが重要である。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	市民のニーズに合う施設整備を図ることによって、市民がよりスポーツに触れる機会の増加が期待される。大規模な大会を開催できる施設を整備することによって、市外の施設利用者が増加し、交流人口の拡大が期待される。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	ランニングコストを抑えるような対応（LED灯の採用、太陽光発電の検討など）を行う。維持管理に際しては指定管理を基本とし、市民と協働する取り組み（ボランティアによる草刈など）を検討していく。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	スポーツ施設の整備は市民全体への利益を目的としている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

平成28年いわて国体開催のために、計画的な施設整備を行った。